



としょかんつうしん



通巻 30 号 (平成 17 年 9 月)

編集・発行 印西市立大森図書館

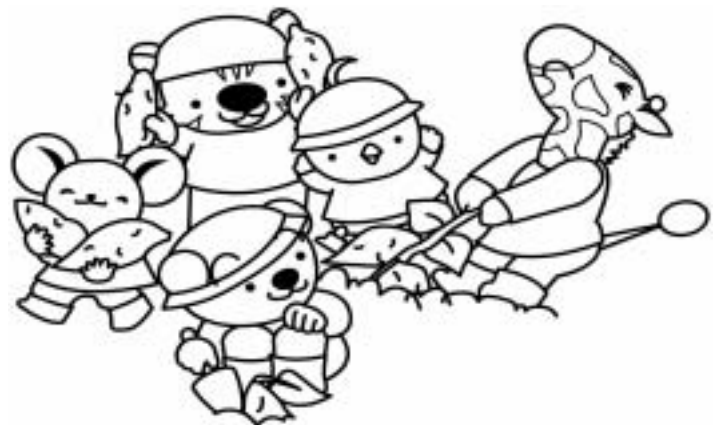
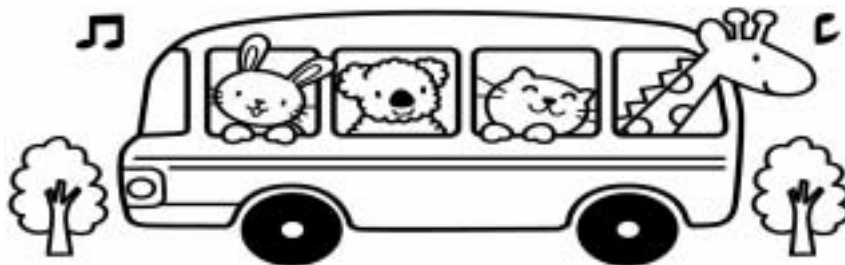
ホームページから <http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

i - m o d e から <http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

目次

* 図書館のこれからの行事

* 図書館で楽しい行事が行われました



大森図書館	42 - 8686	印西市大森2535
小林図書館	97 - 0005	印西市小林北5 - 1 - 6
そうふけ図書館	45 - 2566	印西市原3 - 4
小倉台図書館	47 - 5511	印西市小倉台4 - 5



図書館のこれからの行事

大森図書館「ブックリサイクル」開催！！！！

今年も「よかっぺ夢まつり」の当日に大森図書館にて、ブックリサイクルを開催します。図書館の定めた保存期間を過ぎた雑誌や図書をさしあげます。

ただしお一人様 雑誌5冊・図書5冊までとさせていただきます。掘り出し物を探しに、ぜひお越しください。

- ⊗日程 10月23日(日)
- ⊗会場 文化ホール1階 ホワイエ
- ⊗時間 午前10:00から午後4:00まで
- ⊗問い合わせ先 大森図書館 TEL 42-8686

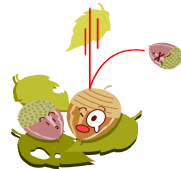


当日会場にて袋等は配布しませんのでご自分でご用意ください。

去る6月25日(土)・26日(日) 小倉台図書館のブックリサイクル開催も、両日とも天候も良く。おおよそ500名の方が来場され、大盛況にて終了することができました。

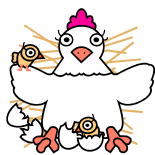


小倉台
図書館
の様子



昨年の大森
図書館での様子





図書館で楽しい行事が行われました



ふるさと文芸案内

小倉台図書館(6月29日から7月27日まで)

歴史ある印西とその近辺で、江戸後期から近代にかけて生み出された文芸作品やその作家群を紹介するこの講座も全9回のうち既に3回の講座が行われました。その内容は、木下河岸を利用した文人達やその作品が主です。特に松尾芭蕉や小林一茶などといった有名人が印西の地についての文章を残しているのを知ってとても身近に感じられました。今後は近代の作家についての話が聞けるようです。

この講座では、様々な資料についても紹介されており、そのうち図書館で所蔵しているものも多くあります。

例えば小林一茶の作品などは、多くの関連書や「一茶全集」(信濃毎日新聞)によって読むことができます。また、印西周辺についてはもちもんその他の利根川沿いの様々な地域についても詳細に記された「利根川図志」(赤松宗旦/著)は文庫本・新書版で読むことができます。大森図書館にはこの「利根川図志」の復刻版があり、館外貸出は出来ませんが館内で閲覧することはできます。

尚 残りの講座についての参加募集は終了しています



印西に伝わる民話の紹介

❁ そうふけっぱらのきつね (絵本)

梶山俊夫/絵

❁ 光堂の竜 印西市教育委員会発行

- ・ 頼政塚とじごくそば
- ・ のろいの五寸くぎ
- ・ 草深原の狐
- ・ 光堂の竜
- ・ お鶴とこま犬
- ・ なまやけの弥兵工
- ・ 力くらべ
- ・ せぎどめの墓



図書館に所蔵してますので、一度読んでみてはいかがでしょうか。



わらべうたであそぼう

そうふけ図書館(7月14日)

2歳児の親子を対象に「わらべうたであそぼう」が行われました。

市内の保育士をお迎えして、14組の親子の参加で、にぎやかな1時間でした。「げんこつやまのたぬきさん」や「とうりゃんせ」など、みんなが知っているわらべうたあそびを中心に行いました。「なべなべそこぬけ」を大勢で行った際には、なかなか間がうまくとれなくて悪戦苦闘しました。日頃あまり大勢で集まって行うことができない遊びができてみんなで楽しい時間をすごしました。

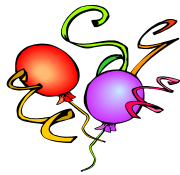


点字講座

大森図書館(7月21日・28日・8月4日)

大森図書館では高橋由紀子氏(点字技能師)を招き、7月から8月にかけて「点字講座 点訳絵本をつくってみようー」(全3回)を行いました。簡易点字器を使い、一文字一文字「点字」表記していく作業に、皆、真剣な表情。1回2時間の講座もあっという間に過ぎてしまいました。参加者のほとんどが、点字ははじめてということでしたが、全員1冊の絵本を翻訳し仕上げることができました。

「使う人が身近にいないから必要ない」ではなく、「使う人がいるからこそ存在する文字」点字。歩みよること誰かが同じように暮らすということの意味を、あらためて考えてみてもらえればと思います。



科学あそび

小倉台図書館(7月28日)

毎年恒例になっている小倉台図書館での「科学あそび」、今年のテーマは「ゴムの特質」について主にゴム風船を使って実験や工作を行いました。ゴム風船はどうやって割れてどういう工夫をしたら割れなくなるのかを考えたり、「バルーンアート」に挑戦したり、ゴム風船からもれる空気を利用した自動車を作ったりと、あっという間の2時間だったのでないでしょうか。特に「ゴム風船自動車」作りでは、どうやったら車をうまく走らせることができるのか、それぞれが考えて工夫をしていました。



図書館探検隊

小倉台図書館(8月11日)

毎年恒例のこの催し、今年は残念ながら小学生4名の参加でした。最初に図書館での仕事を説明し、館内の見学をしました。普段見ることの出来ない「書庫」を電動スイッチひとつで動かし、天井まである本の多さにあっとうされ、毎回歓声を上げて喜んでくれます。

その後実際にカウンターで貸出・返却・本を棚に戻す作業や、最後に本にビニールコートをかける体験を行いました。

参加者の感想は「緊張した」「大変だった」「疲れた」「おもしろかった」などなど……なかには、将来図書館で働きたいというひともありました。



編集後記 まだまだ、残暑がきびしいですが、芸術と読書の秋の到来です。

最近、話題のベストセラーがたくさん映画化されています。この機会に、一度読まれた方も、まだ読まれていない方も、読んでみてはいかがでしょうか。M

